(第三種郵便物認可)

宮地エンジニアリング

研削材の自動 回収・分級機能に着目

するものとなっている。同社千葉工場製造部の猪瀬崇部長に、大型ブラス 型ブラストルーム」を導入し、生産性向上や作業環境の改善に大きく貢献 トルーム導入の経緯と使用後の所感、数値的な効果などについて話を聞い 塗装ラインの再構築を進めている。その中で、昨年、不二製作所製の「大 宮地エンジニアリングでは、2018年から塗装能力向上を目的とした います。 ードからすぐ近くの一方 ム導入の経緯は

本間俊行) 新技術 紹介

年に、塗装能力向上を目

的とした塗装ライン再構

横幅が約220以、長さ 含めて350人程度が勤

有しています。東京湾側 京ドーム4個分の面積を /月の生産能力を有して には岸壁があり、そこか います。 務し、およそ2000-するヤードがあります。 非常に長い製作建屋が

猪瀬部長

猪瀬部長 千葉工場は 千葉工場の概要か は大型構造物を搬出する 立や塗装済み部材を保管 ことができます。 ら材料などを搬入、また 2棟あり、その間に仮組

導入後の所感を

工場内には設計部門も 大型ブラストルームはヤ

塵も回収・分級するた ットを回収し、同時に粉につながりました。 幅に改善されました。ま ト部材入替と同時に行っ 空気を循環させてグリ り、品質のバラツキ抑制 粉塵の飛散環境が大 は非常に有効で、ブラス

ながりました。

直接生産性向上につ ました。同時に素地調整 労働環境の改善につなが

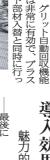
の程度の識別も容易になりました。

グリットの回収 がったことにより安全・ が削減され、ブラスト施

た、作業場所の照度が上 ていたグリット回収作業



大型ブラストルーム全景



まだうまく使える部分が 連動性なども含め、まだ 考えています。 取り込みや配置の仕方、 1年程度ですが、部材の なし」、ブラストルーム ノライマー (塗装) との 発揮」させていきたいと 導入の効果を「最大限に 塗装ラインの構築にあ 向上」、「作業環境の改

グリッ 確信しています。 ありがとうござい

けましたが、そのうちの ブラストブースが橋梁新 この時、いくつかのプロ 自動回収・分級する機能 ジェクトを同時に立ち上「を備える不二製作所製の 力向上を目指したもので こで同製品を知りまし 築の検討を始めました。 つが、塗装ラインの能 聞に掲載されており、そ チールグリットを風力で

の建屋の中に設置されて スト、塗装、ヤードに搬

た。それまで、小型車両

を構築する、その一部と により回収時間を削減 なるブラスト設備の更新 し、その時間を素地調整 出するまでの一連の流れ ましたが、自動回収機能 部材の取り込み、ブラ の先端にバケットを付け てグリットを回収してい

大型ブラストルー

猪瀬 当社は2018 もあわせて検討しまし にあてることにより、ブ その中で、研削材のスさせようと考えました。 ラスト能力をさらに向上

> 回収作業時間が削減され 程度の生産性向上が図れ たことにより、最大20% に着目すると、グリット 猪瀬 ブラストルーム 定に保たれるため、素地 数値的な効果は が大幅に改善されまし 調整の品質(バラツキ) するグリットの粒度が一

がっています。 の差が生産性向上につな んが、グリット回収時間 ました。ブラストを施工 備に大きな差はありませ している時間では新旧設 測定結果は最も良好な 辺でも測定しています。 実施し、粉塵作業の近傍 としてブラストルーム問 定期的に作業環境測定を 第1管理区分」が得ら 当社では、工場の中で

はできませんが、ブース 内の粉塵の飛散環境改善 は非常に大きいものと考 であることが証明されて また、数値で表すこと が、ブラストルームの能 するほぼ全ての部材でブ ついて 衛生面で良好な作業環境 の作業者にとっても安全 れ、ブラストルーム周辺 地調整を行っています ラストルームを活用し素 います。 猪瀬 千葉工場で塗装 現在の稼働状況に

グリット自動回収は非常に有効

施工量増大、労働環境改善へ

時間が削減されること 衛生環境が大幅に向上し 工量が増大するとともに 段に改善され、安全衛生 面でも大きな効果が得ら 元の確認のしやすさが格 界が非常に良くなり、足 作業しますが、研削材と 業は新旧に関わらずエア 粉塵を分級することで視 ラインマスクを使用して えています。ブラスト作 れました。加えて、噴射 力からすれば、少し余力 が残っている状況です。

導入効果を最大限に

が稼働し始めてからまだ させられるよう 「使いこ ブラストルーム こで、より効率的に稼働 魅力的な作業場所を構築 あると感じています。そ d, 流れに着目し、引き続き 検討を進めてまいりま たっては、個々の部分で 取込~搬出までの一連の 必要があるため、部材の 改善し生産性向上を図る

善」を図り、最終的には なげていきます。この工 大きく貢献するものだと 場で働きたい、作業した 樂を目指しており、この な魅力的な作業場所の構 いという人が増えるよう ノラストルームがそれに 労働環境の改善」につ

